

平成27年第9回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 平成27年8月6日(木) 13時30分開会

場 所 瑞浪市役所 4階 全員協議会室

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 議 事

出席委員(5名)

委員長	水 野 昌 代
1 番	加 藤 博 之
2 番	矢 野 元 子
3 番	五 嶋 久 年
4 番(教育長)	平 林 道 博

説明のため出席した者の職、氏名

事務局長	伊 藤 正 徳
教育総務課長	酒 井 浩 二
学校教育課長兼	
学校給食センター所長	藤 井 雅 明
社会教育課長	柴 田 宏
スポーツ文化課長	工 藤 将 哉

職務のため出席した事務局職員

教育総務課総務係長	羽 柴 千 世
-----------	---------

委員長	13時30分、本日の委員会定例会の開会を宣言する。
	—市民憲章朗誦—
	日程第1、前回会議録の承認を行う。 平成27年第8回教育委員会定例会の会議録の承認は、3番五嶋久年委員と4番平林道博委員が承認の署名を行う。
	—署名—
委員長	日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行う。 本日の会議録署名委員は、委員長において、1番加藤博之委員と2番矢野元子委員の2名を指名する。
委員長	日程第3、「議第41号 平成27年度瑞浪市教育費にかかる9月補正予算(第3号) について」を議題とします。
	本案について、事務局に説明を求める。
社会教育課長 スポーツ文化課長 学校教育課長 委員長	議案資料により説明する。 質疑はあるか。
加藤委員	学校給食センターの空調設備工事は、スポット式の空調か部屋全体を空調化するのか。
学校教育課長	部屋全体が冷えるよう設置するものです。
加藤委員	そのやり方は、ランニングコストが必要になると思われるが、そこまで算定しているか。 一方で熱を発生する部屋に一方で冷やすやり方は、矛盾し非効率である。 洗浄作業をしている職員は、定位置に立つので、スポット式の方が効率も良いし、働いている人も涼しいし。
学校教育課長	洗浄室全体を冷やししながらスポットでも冷やせるものである。
委員長	その他に質疑はあるか。
各委員	質疑なし。
委員長	それでは、質疑を終結し採決を行う。 「議第41号 平成27年度瑞浪市教育費にかかる9月補正予算(第

3号) について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員

異議なし。

委員長

ご異議ないものと認める。よって、「議第41号」は、原案のとおり決する。

つづきまして、「議第42号 平成27年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書（平成26年度事業）について」を議題とします。

本案について事務局から説明を求めます。

本案について、事務局に説明を求める。

教育総務課長

議案資料により説明する。

委員長

質疑はあるか。

加藤委員

予算の執行率は重視されるべき項目か。

予算の執行率に対してのA B C D評価の基準があるか。

教育総務課長

入札の結果により当初予算より安く済む事業であると予算の執行率が低くなる場合もある。予算の執行率も含め、総合的に事業の執行内容で判断している。また、予算の執行率に対しての評価区分は設けてない。

五嶋委員

報告書は、ホームページに公表しているか。

教育総務課長

議会に報告後、ホームページで公表している。

五嶋委員

評価だけでなく、予算現額・決算額も含めて公表しているか。

教育総務課長

報告書（案）のとおり、予算現額・決算額も掲載し公表している。

加藤委員

報告書の「評価委員からの指摘を受けて「A」評価から「B」評価に変更しているが、それは執行率が低いからなのか、遅々として事業が進まなかったからか、どちらに重点的を置いた指摘であったか。

教育総務課長

繰越金が発生し、現年度の予算執行率が低く、また当初予定が遅れている事業に対して「A」評価を付けているのはいかがなものかとの指摘を受けた。当初の計画どおりに事業が当該年度中に完了せず繰越金が発生しているため、「A」評価から「B」評価に変更したものです。

加藤委員

自己評価を「A」とした根拠、「B」に直した根拠の説明を願う。

教育総務課長	<p>想定範囲内であるので「A」としたが、当初の予定どおりに実施出来なかったことが（執行出来なかったことが）、繰越金が発生したことに現れている為に、「B」とした。</p>
加藤委員	<p>「A」評価としてもよいのではないか。</p>
教育総務課長	<p>「(仮称) 瑞浪南中学校施設整備事業」については、施設整備に係る設計業務を実施しテニスコート造成工事に着手したが、消防団用の照明設置工事について地元要望を市として受け、同時に実施することとなったため急遽工期の調整が必要となり、工事の効率性を考慮した場合、同時に実施した方が良いという判断をしたため工期が遅れ、不足の事態ではあったが、工期が延びることとなり予算額を繰越したのは事実であり、点検評価委員の意見を真摯に受け止め「B」評価とした。</p>
加藤委員	<p>このような大きな工事は、変更など不測の事態が発生するもので、毎年実施しているような他の事業とは違う。「(仮称) 瑞浪北中学校施設整備事業」に関しても、全国で年間2～3校しかないような「スーパーエコスクール実証事業」に採択されたという成果を評価しても、充分「A」評価で良いと思う。</p> <p>執行率だけでは判断できない事案が多いので、内容で評価してよいのではないか。</p>
教育長	<p>事務局として、執行率の低い理由について「落ち度」や「手抜き」等があった訳ではないことを理解してもらい説明がしっかり出来れば良かった。今後、評価委員会での委員に対する説明を十分行っていくとよい。</p>
教育総務課長	<p>「瑞浪市教育委員会点検評価実施要領」に基づいて実施しており、事務局各課で、第1次評価を行い、評価委員会意見を聞いた上で教育委員会定例会が最終評価を行うこととなっているので、本日の教育委員会での決定を最終評価とするので、ご意見をお聞きしたい。</p>
教育長	<p>点検評価委員会での意見を取り入れて、事務局としてまとめ上げたものがこの報告書であるので、「最終的には、教育委員会5名の責任において報告するので、点検評価委員の意見を原則的には引き継ぐが最終的には教育委員会で決定した」ことを点検評価委員に説明し、評価の変更を伝えればよい。</p>
加藤委員	<p>点検評価委員会委員から指摘があって、3回の委員会の中で即答し、評価を「A」から「B」に変更し決定しているという訳ではないか。</p>
教育総務課長	<p>1、2回目の委員会では、各課から説明しご意見を聞き、3回目の委員会では、見直した評価を委員に説明させていただいた(案)を本日ここにお諮りしている。最終的な判断は教育委員会となっている。点検評価委員会の上で即答し決定している訳ではない。本日は、提案した(案)</p>

で良いかの判断をしていただきたい。

教育長

来年度の業務の改善のために実施している。ご指摘の事業については繰り越した内容については、来年度に生かすようなことではない。ここで、最終判断を下したことを点検評価委員に説明して評価を変更すればよい。瑞浪北中学校の建設時においても、同様の事態が起これる可能性があるので評価の考え方を事前にもっておくこと。

加藤委員

他の委員の意見はいかがか。

委員長

「(仮称) 瑞浪南中学校施設整備事業」及び「(仮称) 瑞浪北中学校施設整備事業」について、「A」評価とすることに異議はないか。

各委員

異議なし。

委員長

それでは、「(仮称) 瑞浪南中学校施設整備事業」及び「(仮称) 瑞浪北中学校施設整備事業」を「B」評価から「A」評価と変更することに決しました。

局長

予算の繰越により執行率が低かったのは、落ち度があったなどの理由により執行出来なかったわけではなく、不測の事態が起きたことによるものであり、より良い事業が実施できたということで、教育委員さんに承認いただきましたので、教育委員会の評価とさせていただきます。

委員長

その他に質疑はあるか。

「児童生徒学業支援員派遣事業」の中で、瑞浪小学校の養護教諭が2名から1名になったことについて、児童の減少によることで仕方ないが、仕事量から見て大変である。平成27年度も1名のままであるか。また、学業支援員として養護教諭のサポートが出来る人を雇うことは可能か。

学校教育課長

平成27年度も1名のままである。
また、学業支援員を養護教諭のサポートにつけることは難しい。

五嶋委員

「ALT活動関係経費」の中で、「トラブルになることがあった」とあるが、具体的にはどんなトラブルであったか。

学校教育課長

一部のALTについて、委託業務の契約内容を権利として主張しすぎてチームティーチングとしての学習活動が円滑に行われないうことが多くあった。例えば、「業務外のことだけなのでやらない」などと言って、掃除時間や昼休み時間も子どもたちと一緒に活動しないような、ALTがいて、学校現場では困っているという事例があった。

加藤委員

「歴史案内ボランティア養成事業」は唯一「D」評価である。評価に

ついて説明を求める。

スポーツ文化課長

本事業は歴史案内人ボランティア養成を目的としたものであるが、「みずなみかたりべの会」と共同で、「史跡探訪案内」を発行することは、目的に合致しないため、事業実施を見送った。決算見込額 5,000 円は、公開講座の現地視察時の講師謝礼である。本来は、ボランティア養成を目的とする事業であったが、この事業予算で養成するのではなく、ボランティアが作成する歴史散策マップの発行費用となっていた。ボランティアの活動を支えていくような形が本来である。

文化施設事務経費で予算計上し、市の主催で講座等を実施し、ボランティアの活用を検討することとする。

加藤委員

来年以降は事業としては無くなるのか。

スポーツ文化課長

無くなる。

委員長

地図は完成したのか。

スポーツ文化課長

完成した。

委員長

その他に質疑はあるか。

各委員

質疑なし。

委員長

それでは、質疑を終結し採決を行う。

「議第 4 2 号 平成 2 7 年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書（平成 2 6 年度事業）について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員

異議なし。

委員長

ご異議ないものと認める。よって、「議第 4 2 号」は、原案のとおり決する。

以上で本定例会に提出された議案の審議が終わり、本日の日程が終了したので、これにて、平成 2 7 年第 8 回瑞浪市教育委員会定例会を閉会する。

1 4 時 1 5 分終了